

果樹カメムシ類の越冬量について

1. 病害虫名：果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ越冬成虫)
2. 対象作物：ウメ、モモ、スモモ、カキ、カンキツ
3. 発生地域：県内全域
4. 発生量：多
5. 加害期間：5月上旬～
6. 発生状況：
 - 1) 落葉中のチャバネアオカメムシ越冬成虫は、県内 47 地点において 1 地点落葉 50% 当たり 2.1 頭で、前年 (0.1 頭) および平年 (0.3 頭) より多く、1993 年に調査を開始して以降、1996 年 (9.5 頭) に次いで多く、過去 10 年間で最も多かった (第 1 表)。
 - 2) 越冬成虫の捕獲地点率は 51.1% で、前年 (6.3%)、平年 (16.0%) より高かった (第 1 表)。
 - 3) 農作物病害虫防除所みなべ駐在 (みなべ町東本庄) に設置された予察灯での昨年の果樹カメムシ類の新成虫の誘殺数は、チャバネアオカメムシが 9 月に 24,262 頭、10 月に 7,293 頭、ツヤアオカメムシが 9 月に 11,719 頭、10 月に 25,418 頭と両種とも極めて多かった (第 2 表)。
 - 4) ツヤアオカメムシは、紀中、紀南地域で越冬期に防風樹や中晩柑園で多く認められたことから、越冬密度が高いと推定される。

第 1 表 チャバネアオカメムシの越冬密度

年次	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	平年値
捕獲頭数/1地点	0.7	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.0	1.0	0.1	2.1	0.3
捕獲地点率 (%)	43.3	1.6	9.5	9.5	12.7	20.3	18.2	1.6	37.5	6.3	51.1	16.0
調査力所数	60	63	63	63	63	64	66	64	64	64	47	—

注 1) 定点における雑木林の落葉 50% を 1～2 月に調査。平年値：過去 10 年間の平均値

注 2) 捕獲地点率は全調査地点のうち越冬成虫が捕獲された地点の百分率

第 2 表 乾式予察灯への果樹カメムシ類の誘殺数 (単位：頭)

時期	カメムシ類	2010	2011	2012	2013
9月	チャバネアオカメムシ	870	6,903	755	24,262
	ツヤアオカメムシ	392	1,202	595	11,719
10月	チャバネアオカメムシ	5	88	0	7,293
	ツヤアオカメムシ	96	682	18	25,418

調査場所：みなべ町東本庄

7. 防除上の注意事項

- 1) 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所コーナー(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>)の「果樹カメムシ情報」や各地域でのJA等の調査情報を参考にする。
- 2) 農薬については最新の登録情報(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm000.html> 農林水産消費安全技術センターHP 農薬登録情報検索システム)を参照し、適正に使用する。

担当：農作物病虫害防除所		
ウメ	みなべ駐在	TEL:0739(74)3780
モモ・スモモ・カキ	紀の川駐在	TEL:0736(73)2274
カンキツ	有田川駐在	TEL:0737(52)4320